

きれいで安全・安心な 生活環境のまち

ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け施策などの検討を進めます。

建設から48年が経過し、施設・設備の老朽化が進む葬斎場は、中富良野町と将来の火葬場の共同利用について検討を進めながら適正な維持管理を図ります。



町葬斎場

消防・防災は「洪水ハザードマップ」を更新し避難経路・避難場所の再確認を行うとともに、町民の防災に関する知識・意識の更なる醸成を促します。

継 続

- ・クリーンセンター燃焼室耐火材更新

防衛事業

- ・島津公園整備 ネットフェンス更新など

みんなが元気になる 健康・福祉のまち

「第2次健康かみふらの21計画」「第2期保健事業実施計画・第3期特定健診等実施計画」が最終年になることから、新たな課題を踏まえた次期計画を策定し健康寿命の延伸に努めます。

母子保健では、新たに低所得の妊婦の初回産科受診料支援事業などに取り組み、次世代を担う子どもが健やかに育つことができる支援策を充実します。

町立病院は、令和7年度の完成に向け、実施設計の策定、建設工事に着工し、計画的な整備を進めます。

子どもセンターは、令和6年4月の新子どもセンター供用開始に向け取り組みます。

新 規

- ・各種計画更新(地域福祉計画策定など)

拡 充

- ・母子保健の充実(産後ケア事業など)

防衛事業

- ・かみんのボイラー更新

5つの町政運営基本方針

令和5年度 町政執行方針

暮らし輝き交流あふれる 四季彩のまち・かみふらのをめざして

町では、地方税収など自主財源の大きな伸びが見込めないなかで、全収入の約4分の3が依存財源という柔軟性の乏しい財政構造となっています。

過去の地方債の償還完了に伴い償還費はピークを過ぎ減少している一方で、人口減少社会を見据え自立した地域を維持するための地域振興、加速する少子高齢化や人口減少への対応、子育てや介護など幅広い社会福祉環境の整備をはじめ、多発する自然災害に対する応急・恒久的防災対策、老朽化が進む社会資本の長寿命化など、さまざまな行政課題に対応するための継続的な財政需要が想定されています。

さらに、町立病院の建て替え、新子どもセンターの建設をはじめとした大きな公共投資も予定されており、中長期的な見通しに基づき、活力あるまちづくりと自治体経営の安定化との両立を図っていかねばならないと認識しています。

財政的には依然として厳しい状況ではありますが、町民の皆さまが「かみふらの」に愛着を持ち、夢と希望に満ちたまちづくりを進めることが何よりも大切であると受け止めています。第6次上富良野町総合計画に掲げている将来像を念頭に、緊急性や優先性などを十分考慮し、今後見込まれる財政需要に対する財源確保の状況を見極め、予算編成を行いました。



ここに掲載しているのは抜粋です。
全文は町ホームページをご覧ください



令和5年度町政執行方針
全文はこちらから

発展を支える 生活基盤の整ったまち

住環境整備については、賃貸や転売による利活用につながる改修や、地域環境に影響を及ぼす空き家の解体促進のため、新たな住宅改修補助制度を創設し総合的な対策を実施します。

町営住宅は、泉町南団地の5号棟建設工事、外構工事を行います。

定住移住の促進では、「第2次定住移住促進計画」が最終年度となることから、人々の定住と町内移住を促し将来にわたる人口減少の抑制など、持続的なまちの魅力や住むことへの満足度の向上に向けた第3次計画の策定に取り組みます。

拡 充

- ・住宅改修費助成

住宅改修費助成については、7ページで詳しく紹介しています。

継 続

- ・町営住宅泉町南団地整備事業(5号棟建設・外溝整備)
- ・町営住宅宮町団地 屋根・外壁塗装
- ・町道改良舗装(旭町3丁目2番通り)

ともに生き ともにつくるまち

自衛隊員との共存共栄のまちづくりを図るため、駐屯地と連携し、隊員が働きやすい環境を図るとともに、関係する市町村や機関、団体と連携しながら、上富良野駐屯地の規模堅持と体制強化、隊員の充足率の向上などを求める要望活動を進めていきます。

ふるさと応援モニター事業では、地域おこし協力隊を採用し、新たな返礼品の開発や事業者開拓などに力を入れ、町の魅力を積極的に広く全国に発信します。



ふるさと納税返礼品

活力と交流あふれる 産業のまち

農林業では、力強く持続性の高い農業の確立に向け、現計画が最終年度を迎えることから、この間の成果、課題などを検証し、「第9次農業振興計画」を策定します。

ラベンダー・ホップ・メロン・青シソなど特産農作物は、地域おこし協力隊員を採用し、農業生産の維持、拡大に取り組みます。



東中地区の青シソ蒸留作業

商工業では、既存事業者の経営の持続化や新たな担い手による新事業の展開、町内消費の喚起と併せ、後継者不足などの対応に向け、第3次商工業振興計画の策定に取り組みます。

観光・交流では、地域おこし協力隊や地域活性化起業人制度などを活用し多様な施策・課題に対応する新たな人材の確保・育成を引き続き進めます。



教育事業に参加する、
地域おこし協力隊

十勝岳ジオパークのさらなる活性化のため、ジオツーリズムの推進、ジオパークブランドを利用した商品開発などを進めます。また、拠点施設である郷土館の展示を改善し、地域の魅力の再発見に取り組みます。

新 規

- ・フラヌイ地区日新幹線用水路 長寿命化・防災事業

拡 充

- ・地域おこし協力隊(観光推進員、ジオパーク推進員、地域振興推進員、教育支援専門員、特産農作物支援員)
- ・ラベンダーフェスタなど



昨年のラベンダーフェスタ
かみふらの

ふるさとに学び 人が輝き 人がつながる かみふらのの教育

今、価値観や生活様式が大きく変わり、これまでの知識や経験だけでは解を見出すことが難しくなっています。

このような変化が激しい時代の子どもたちが、さまざまな困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくために、自らの可能性を認め、地域の多様な人々と連携・協働し、生かしていくことが大切です。そのために、学校教育と社会教育が両輪となり、必要な資質・能力を育む教育行政を推進してまいります。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれないなか、児童生徒の安心・安全の確保と学びの保障の両立、住民の学習活動を止めることなく健康で文化・スポーツに励んでいただくことを基本とし、時々の状況を見極めながら対応を図ってまいりました。

教育委員会では「教育振興基本計画」に掲げる「ふるさとに学び 人が輝き 人がつながる かみふらのの教育」の理念の下、学校教育基本方針の「生きる力を培う学びの推進」「家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進」「安心して学び、安全に過ごす教育環境の整備の推進」と社会教育基本方針の「生涯学習活動の充実と人を育む環境づくりの推進」「健康づくりのためのスポーツ活動の推進」「心の豊かさを育む文化・芸術活動の推進」にむけ、教育行政を進めてまいります。教育行政執行方針の根幹「教育振興基本計画」が、令和5年度で前期5カ年を経過し、策定時から教育をめぐる情勢も変化していることから、後期5カ年にむけて見直しを行います。教育振興基本計画との整合を図るため、第9次社会教育中期計画(平成31年度～令和5年度)が最終年度となるため、社会教育委員兼公民館運営審議会委員に諮問し、第10次社会教育中期計画(令和6年度～令和10年度)の策定を進めてまいります。

町教育委員会として、家庭・学校・地域・行政の連携をこれまで以上に深めながら、まちの豊かな資源を学校教育、社会教育の場面で効果的に活用し、学ぶことの楽しさ、分かることのうれしさを実感できる教育の実現を図ることにより、生涯を通じて「主体的に学び続ける意欲」と「持続可能な地域づくりを担う人材育成」に取り組んでまいります。



ここに掲載しているのは抜粋です。
全文は町ホームページをご覧ください

令和5年度 教育行政執行方針



学校教育推進目標に関連する6項目

①生きて働く学力の育成

- ・確かな学力の育成
対面授業とタブレットなどを活用したICT教育を実施。文部科学省CBTシステム「MEXCBT」※の活用とタブレットの家庭への持ち帰りに向けて試行・検討します。
- ・特別支援教育の充実
就学前から関係機関と連携し、中・長期的な支援をします。3つの小中学校に「特別支援教育支援員」を配置します。
- ・国際理解教育と情報教育、キャリア教育の充実
外国語指導助手（ALT）の配置、英語専科教員の指導への支援を行います。情報教育では児童生徒へのICT機器の技術習得、情報モラル教育を行います。キャリア教育では児童生徒の農業体験や職場体験学習の充実を図ります。

②豊かな心の育成

- ・道徳教育、ふるさと教育の充実
さまざまな地域の人と関わる活動を行います。小学校の「社会科副読本かみふらの」の第12次改訂版を作成します。
- ・読書活動の推進と体験活動の推進
学校図書館の環境改善、地域の教育資源を生かした多様な体験活動を行います。
- ・コミュニケーション能力の育成
コミュニケーション能力を高める言語活動を支援します。
- ・いじめ・不登校を解消する取組みの充実
児童生徒や保護者からの相談窓口を継続します。不登校児童生徒の支援として、臨床（公認）心理士などによる児童生徒のカウンセリング、保護者との教育相談体制の充実のため「教育支援センター」を設置します。

③健やかな体の育成

- ・体力・運動能力の向上
「全国体力運動能力・運動習慣調査」結果をもとに、各学校における体力づくりをサポートします。

※「MEXCBT（メクビット）」文部科学省が開発したオンライン学習システム。希望する学校ならどこでも無償利用でき、幅広い用途での学習効率化が望める

- ・食育の推進と健康教育の充実
栄養教諭の「食育授業」、健康管理の徹底を進めます。
- ④学びを支える家庭・地域との連携・協働
 - ・家庭教育支援の充実
教育支援センターを活用した保護者が相談しやすい組織づくりに取り組みます。
 - ・学校と地域の連携・協働の推進
地域学校協働活動の推進、部活動の地域移行に関して検討・協議をします。
 - ・学びのセーフティネット
家庭へのタブレット端末貸出などを継続します。

⑤学びを高める信頼される学校づくり

- ・学校段階間の連携・接続の推進、特色ある学校づくり
西小と東中小の交流学习を重点に行います。英語専科教員の中学校への配置を継続します。特認校である東中小の教育活動を支援します。
- ・授業力・児童生徒理解力向上
教員の授業力向上のための研修などを行います。
- ・学校施設と学校運営の改善
各学校の設備・修繕は計画に基づき整備します。校務支援システムの活用など教職員の働き方改革を継続します。
- ・学校安全教育の充実
十勝岳の噴火時の対応など緊急事態における児童生徒の安全確保のための教育を支援します。住民会・町内会による登下校時の「見守りパトロール」など、地域総ぐるみで児童生徒の安全保持に努めます。



東中小花壇整備



見守りサポート

⑥上富良野高等学校への総合的支援

- 通学費や就学支援金、入学準備金の助成、介護職員初任者研修など各種資格取得への支援のほか、学校給食の提供を継続して支援します。令和5年度は全国高等学校総合体育大会登山競技が、町ほか3町において開催されるため、北海道と連携しながら開催地としてサポートします。

社会教育の推進にする6項目

①家庭の教育力向上

読み聞かせや芸術鑑賞などの情操教育の充実を図ります。

②地域の教育力向上

かみふっ子フレンドキャンプなどの継続、スポーツ少年団などの支援を行い、青少年の健やかな環境づくりを推進します。



子ども会野外体験

③生涯学習活動の推進

マイプラン・マイスタディ講座など各種学習機会の提供のほか、いずえ大学での生きがいつくりを進めます。

図書館運営では第4次子ども読書推進計画の策定のため、小中高校生に対しアンケートを実施します。

④スポーツの振興

スポーツ推進委員・スポーツ団体と協力して各種教室や大会を開催します。引き続き、町内の高校生以下のパークゴルフ場とスキー場リフト使用料を無料にします。

⑤文化の振興

第60回総合文化祭で記念事業を開催するほか、町民芸術鑑賞事業、文化教室などを実施します。郷土館は、十勝岳ジオパークの拠点施設として展示などのリニューアルを行います。

⑥社会教育の基盤整備

社教センター、各公民館分館、B&G海洋センター、パークゴルフ場など各種施設の維持管理に努めます。